










防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	佐賀国道地区	氏名	南嶋 佳典
活動地区	I. 風水害対応訓練 II. 合同点検 III. 道路徒歩巡回		
活動年月日	I. 令和5年6月2日(金) II. 令和5年5月19日(金) III. 11月8日 & 16日		
活動内容	<p>I. 「令和5年度風水害対応訓練」に参加 エキスパート会参加者：山口正二、立花勝良、南嶋佳典</p> <ol style="list-style-type: none"> 日時: 令和5年6月2日(金) 10:00～12:00 場所: 佐賀国道事務所管内 被災状況及び主な意見 <ul style="list-style-type: none"> 一般国道202号66k200付近(右) 斜面崩壊(延長約40m) 道路への土砂流入、堆積 復旧工法の検討や助言 今後も降雨が考えられることからブルーシートの設置を検討。 出張所に待機している防災エキスパートへの情報共有。 事務所から出張者へのう回路の情報提供。 <p>II. 「令和5年度佐賀国道事務所合同点検」に参加 エキスパート会参加者：後藤清正、山口正二、岩永弘巳、松尾誠二、南嶋佳典 (オブザーバーとして、松本義浩、田中定光参加) 佐賀国道事務所と九州防災エキスパート会との連携により実施するもの。</p> <ol style="list-style-type: none"> 日時: 令和5年5月19日(金) 10:00～12:00 場所: 佐賀国道事務所管内 点検箇所及び主な意見 <ol style="list-style-type: none"> 一般国道34号76k210～76k300(下) <ul style="list-style-type: none"> 用地買収を行い、のり面処理等の対策を講じることが考えられる。 一般国道35号(上) <ul style="list-style-type: none"> 早急にTec-Doctorの診断を仰いだほうが良い。 対策工法によっては、現在進められている工事に手戻りが生じることが懸念される。 今後の崩落の進捗の程度によっては影響範囲が広がる恐れがある。 早めに予算の措置を講じたほうが良い。 <p>III. 「道路徒歩巡回」に参加……鳥栖維持(出)管内等 佐賀国道地区</p> <ol style="list-style-type: none"> 11月 8日 参加者：立花勝良、南嶋佳典 11月16日 " : 今泉泰敏、立花勝良、松尾佳久、南嶋佳典 		
活動写真等	<p>I. 風水害対応訓練実施状況</p>  <p>II. 合同点検実施状況</p> 		



防災エキスパート(風水害防災訓練)活動報告書

所 属 地 区	九州防災エキスパート会八代支部	氏 名	田中秀之進
活 動 地 区	八代河川国道事務所風水害対応訓練(道路関係)		
活動年月日	令和 5 年 6 月 7 日 10:00～12:00		
活 動 内 容	<p>○八代河川国道事務所道路(南九州西回り自動車道日奈久～水俣間)管理区間の風水害対応訓練が行われました。 防災エキスパート会八代支部にも、非常体制時での支援要請があり、支部会員に情報共有の後、1名事務所への参集を実施しました。</p> <p>①訓練想定状況</p> <p>9:40 熊本県全域に大雨警報発表(注意体制発令)</p> <p>10:20 津奈木で連続雨量250mm以上到達(警戒体制 通行止め基準到達 芦北IC～水俣IC間通行止め指示。関係機関へ情報伝達。記者発表作成。)</p> <p>10:40 40k900水俣市大迫地区で切土部崩落発生(非常体制。エキスパート会出動依頼。スマホ、モバイルPCで現地から被災状況映像共有。記者発表災害発生作成。応急復旧工法検討開始。)</p> <p>②エキスパート会参加の役目 訓練全般的な不足、不備事項の助言と応急復旧工法検討での助言を行う事である。</p> <p>③助言及び課題の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 応急復旧工法検討の手順は 土砂撤去→二次災害防止の土嚢積等の設置→安全点検→規制解除であり、その為の資機材調達及び所用日数把握である。 ● 八代の道路業務は管理経験が浅いため、防災業務でのスキルアップは重要であり、事前での事例準備の積み重ねが必要と思われる。(特に記者発表) ● 防災室が狭すぎる。河川・道路共有の防災室であるが、同時共有の場合、道路と河川で各々、3畳程度の机上しか取れない。 ● インター出入口規制での張り付き要因解消に向けた規制の在り方検討 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般道入口から先で車線が上り線と下り線方向に分岐するものであり、例えば、下り線のみ交通止めの場合、事前にインター入口で利用者毎に方向確認が必要である。誤進入の場合、分岐手前で、方向転換が大型車の場合は出来ない。 ・ 規制要員の減少や解消を図る為には、転回場所の設置検討、或は、インター間の規制区間の箇所検討が必要。 		
活動写真等			





防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	大分地区 風水害対応訓練(道路)	氏 名	吉原 匠・西 豊和・宮崎主税
活動地区	Ⅰ. 大分河川国道事務所 Ⅱ. 佐伯河川国道事務所		
活動年月日	Ⅰ. 令和5年6月7日(水) Ⅱ. 6月2日(金)		
活動内容	<p>令和5年度九州地方整備局風水害対応訓練(道路)</p> <p>Ⅰ. 大分河川国道事務所、日田国道維持・大分維持・中津維持出張所</p> <p>・出席者 事務所 河崎事務所長、甲斐副所長、久賀総括保全対策官 他 エキスパート会 吉原、松本、八木、總崎、渡辺、山中、三浦</p> <p>【防災エキスパート会からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型土嚢等の事務所や建設会社のストックを事前に調べておく必要がある。 ・H鋼や矢板等も地元建設会社やリース会社がどれだけ所有しているか調べておく。 ・今日の訓練にマスコミを呼んで、活動を広く知らせても良かったのでは。 ・災害協力業者の連絡先リストや地先名が分かり易い地図等、事前に用意し分かり易くしておく。 ・被災箇所は距離標だけでなく地名を入れるべき。 ・迂回路調査を含め、応急復旧作業等の協定業者の選定根拠必要。 ・道路情報板の変更指示を誰が行ったかなどの役割分担を明確に。 ・災害時は高速が止まる可能性があり、リエゾン、TEC-DOCTER派遣等に安全に配慮する。 ・迂回路調査は自治体にも確認するとともに情報共有を図る。 ・隣接する維持出張所(他事務所含む)との連絡・情報交換を密に行うこと。 ・出張所でのリエゾンや協力業者等との情報共有の充実(通信機器等)が必要。 		
	<p>Ⅱ. 佐伯河川国道事務所、竹田維持サテライト・竹田維持出張所</p> <p>・出席者 事務所 永田事務所長、那須副所長、佐藤地域防災対策官、平川課長 他 エキスパート会 西班牙長、宮崎班員</p> <p>【防災エキスパート会からの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関である、警察・自治体・公共交通機関などへの情報伝達演習も必要。 本番はFネット等利用した、全止め→片交、全面開放の見通しなどのとなる。 ・大災害時に備えて防護柵建て込み用の掘削機や矢板、H鋼等の材料リストを作成しておく。 ・災害規模による現場での指揮者について事務所と出張所で確認しておく。 ・エキスパート会としての協力や援助が考えられること。 ①エキスパートへの派遣について要請したい事といつのタイミングかを予め案を持っておく。 ②防災対策室に最低1名は、詰めてEXP会会員等への情報発信も必要。 ③竹田維持・サテライト出張所の災害時業務は多忙であり、EXP会会員が最低1名は詰めて、情報収集や外部からの電話対応補助などに当たることも考えられる。 ④出動要請を受けた場合は被災個所に2～3名出動し、応急復旧法などの検討助言を行う。 		
活動写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>防災室</p>  <p>中津維持</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>大分(事)</p>  <p>大分維持</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>日田国道維持</p>  <p>佐伯(事)</p>  </div> </div>		

防災エキスパート（平常時サポーター）情報通報用紙

所属地区	鹿児島支部（鹿児島国道）	氏 名	上原 良文
活動地区	鹿児島国道事務所 道路防災訓練		
活動年月日	令和５年６月１０日（金）		
活動内容	<p>【風水害対応訓練】</p> <p>○開催日時：令和４年６月１０日（金） ９：４５－１１：４５</p> <p>○参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災エキスパート（３名） 上原良文、豊増真也、五反田信幸 <p>○参加内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応急復旧工法について助言 ・訓練内容について助言 		
活動写真等	<p>○助言内容</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・災害が起きたら、人や車両等について被害が無いか確認すること ・被災状況報告の際は崩落土砂の路面の土砂流出高さ確認すること。人や車両被災等の判断材料となる。 ・大型土嚢の設置の際は、土砂流出などのポケットを加味し設置した方が良い。 ・仮設防護柵の構造・高さは、被災斜面の高さ・浮石など確認して設置すること。 ・大型モニターを使い現場のリアルタイムな映像が確認でき、情報共有も良くなされてた。 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">防災訓練状況</p>		

防災エキスパート(合同防災点検)活動報告書

所属地区	九州防災エキスパート会八代支部	氏名	田中秀之進 喜多川孝・田口仁
活動地区	南九州西回り自動車道(日奈久～水俣)区間		
活動年月日	令和 5 年 5 月 30 日		
活動内容	<p>道路法面等の災害防止の事前点検</p> <p>○梅雨期及び台風期に向けた道路法面等の災害防止の事前点検の参加要請があり、エキスパート会八代支部3名と八代河川国道事務所関係者(事業対策官・道路管理課長外1名)及び、道路維持業者(五領建設)・道路防災点検業務(ダイヤコンサルタント)で合同防災点検を過去の災害箇所も含めて、4カ所の点検を行いました。</p> <p>①二見地区の法面表層風化による、小土塊滑落及び側道を含む表面水排水処理について</p> <p>②花岡トンネル終点坑口左側法面沢部からの道路への流水及び小土塊流出について</p> <p>③津奈木IC入口部交差点の冠水について</p> <p>④高架下橋台前面法面の一部洗掘崩落について</p> <p>○以上4カ所について、一部対策済みの箇所もありましたが、今後も過去の事例から、事前に応急処置をしないと、同様の交通阻害が発生する可能性がありえる箇所もありました。</p> <p>○各箇所において、災害が発生する要因 (異常降雨による排水構造物からの越流や法面地山風化による法面保護機能の低下)これらに対応する、応急処置及び今後の災害防止に向けた対応処置について、考え方の基本事項</p> <p>①流出断面の死に体断面把握</p> <p>②現場状況での流水状況把握(・流水の流れが滞ると越流・流水方向見極めが重要)</p> <p>③拡大させない為の事前の予防保全)等の助言を行いました。</p>		
活動写真等	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;">  <p>(過去の災害発生事例説明)</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>(①二見地区現場)</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>(②花岡トンネル左法面沢部砂防壁型集水樹箇所)</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>(IC入口交差点部冠水地点)</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>(高架下橋台前面法面一部洗掘崩壊箇所)</p> </div> <div style="width: 33%;">  <p>(本線高架下排水処理の流末構造水路)</p> </div> </div>		